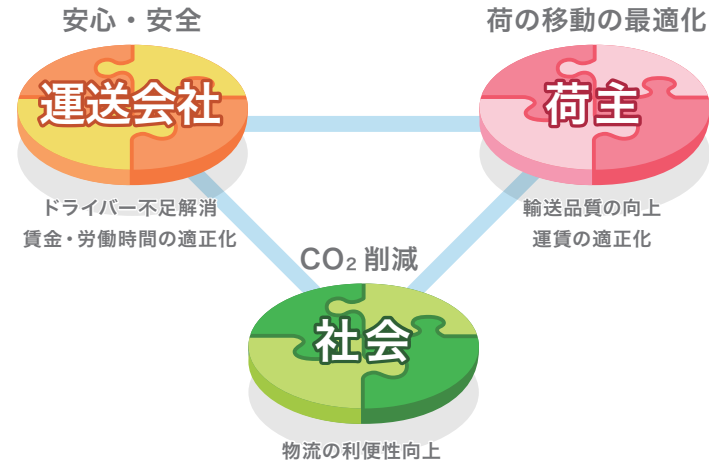


## 実現したい姿



物流に携わる皆様と共に  
ステークホルダーすべてが笑顔になれる  
新しい物流のかたちをつくりたい。

## 実現に向けた取組み

### “より効率的に多くの荷物を運ぶ”

乗務員2人で2台のトラックで運んでいた荷物を、1人で2台分運ぶ。

2人で2台



1人で2台分



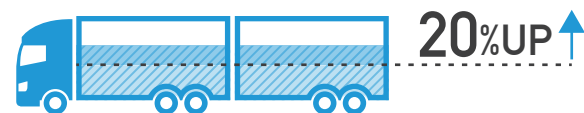
### “1台でより多くの荷物を運ぶ”

現在、約40%の積載率を60%にできれば、3台が1台にできる。

積載率  
40%  
(3台)



積載率  
60%  
(1台)



### 新規ビジネスチャンスの創出

積載率の向上と効率的稼働の実現で、リソースが新たなビジネスに充てられる。



## 具体的な実証実験の内容

ドライバー情報



ドライバーモニター・  
健康管理センサー

運転席に設置されたカメラ等によってドライバーの健康状態や疲労度合いなどを把握します。

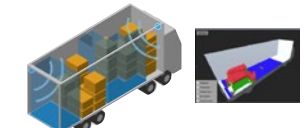
車両情報



通信機搭載車

お客様の稼働を止めないため車両情報を HINO へ送り、故障診断や予防整備提案などを行います。

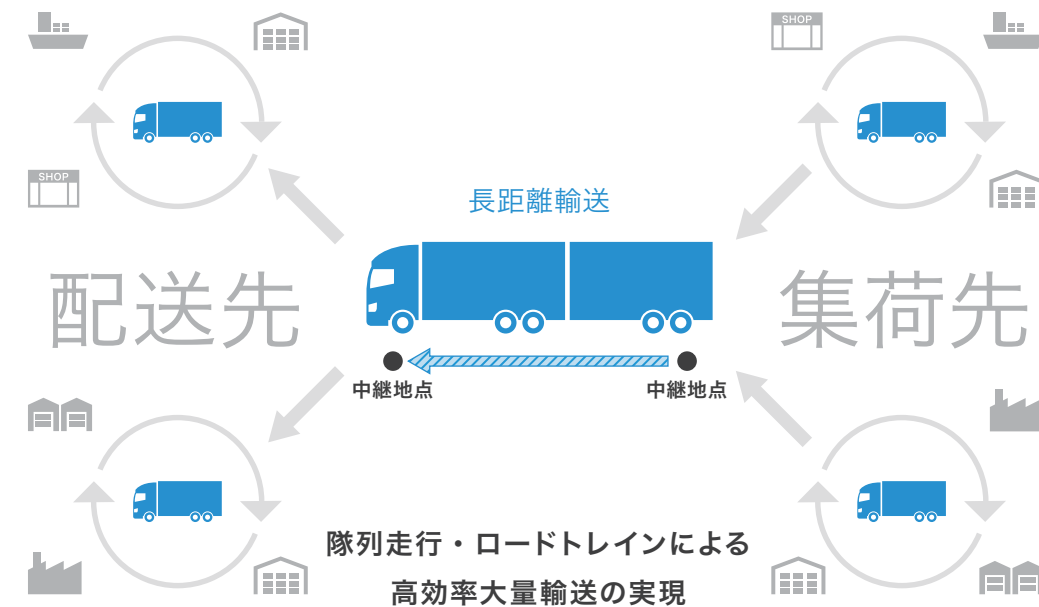
荷物情報



積荷・荷台の空きスペースを「みえる化」

荷室や貨物の状態をモニタリングすることで空きスペースをみえる化し、積載効率を高めるための情報源化と共に、更なる輸送品質の向上を図ります。

### ドライバー・車両・荷物情報の3つの情報を高度に活用した 安心・安全な物流環境及び高積載率の実現



※自動運転やより高度な環境技術を見据えた実証実験も検討